

近年、多くの細菌感染症やウイルス感染症について、迅速診断の進歩・普及により、病原体診断が従来にくらべてはるかに身近なものになっております。抗菌薬・抗ウイルス薬による治療についても治療指針が整備・周知されております。

一方、食中毒は一般的な感染性胃腸炎との鑑別が困難な場合も多く、その原因も病原微生物に限らず、毒素や化学物質まで多岐にわたるため診断は容易ではありません。また、食品衛生法により、食中毒患者またはその疑いのある患者を診断したときは、ただちに保健所に届出を行う必要もあります。

クリニックに受診することも多い食中毒ですが、その可能性を疑い、さらに病原体・原因物質を推測し、保健所への報告も含めて迅速、的確に対応することは容易なことではありません。

そこで今回の特集では食中毒について、細菌に限定せずに多彩な病因を網羅することをテーマとしました。まずは病原大腸菌による食中毒について、病態生理から疫学、診断と治療の実際まで、かなり踏み込んだ内容で解説していただきました。食中毒の原因菌として病原性大腸菌と並んで重要なカンピロバクター、サルモネラについても、盛りだくさんの

内容を少ないページ数にまとめていただけたと思います。その他の細菌性食中毒については、図表を活用して簡潔にまとめていただき、衛生管理の重要性、重大な合併症などについても分かりやすく解説していただいております。

「細菌だけじゃない」というタイトル通り、今回はウイルス、毒素、化学物質についても専門家の方々におまといいただきました。ウイルスとしてはA型、C型肝炎ウイルスについて、疫学や臨床像に加えて事例一覧もご紹介いただきました。また、寄生虫による食中毒、とくにアニサキスについては多くの写真を交えて分かりやすく解説していただきました。その他、自然毒（魚介類、キノコ、植物）そして化学物質や薬品の混入による食中毒に関しても、それぞれ専門家の先生方に解説していただきました。

企画段階で想像していたよりもかなりボリュームのある特集となりましたが、スペースの許す限り、できるだけ網羅的に取り上げることができたと思っております。日常診療における断片的な経験、知識を整理し、アップデートすることにお役に立てば幸いです。

(高橋 孝雄)

編集：伊藤保彦・中西敏雄・岡部信彦・清水直樹・高橋孝雄（ABC順）

小児科

第64巻 第12号 12月号

2023年12月1日発行（毎月1回1日発行）

定価 3,190 円（本体 2,900 円＋税 10%）

年間購読料金

定価 48,950 円（本体 44,500 円＋税 10%）

〔年間13冊（増刊号、増大号を含む）の誌代〕

〔年間予約購読者に限り送料無料〕

※別冊は年間購読に含まれません※

発行所 金原出版株式会社

発行者 福村 直樹

〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-14

Tel 03-3811-7165〔雑誌部直通〕

Tel 03-3811-7184〔営業部直通〕

Fax 03-3813-0288

www.kanehara-shuppan.co.jp

振替口座 00130-1-191269

印刷所 三報社印刷株式会社 Tel 03-3637-0005

広告申込先 株式会社文京メディカル Tel 03-3817-8036

・本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権（送信可能化権を含む）、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著作者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

・**JCOPY**＜出版者著作権管理機構 委託出版物＞

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（TEL：03-5244-5088、FAX：03-5244-5089、E-mail：info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。